



こどもたちは、オヤジのチカラを待っている？

おやじりんく通信

おやじりんく第二期目がスタート 活動は全国展開へ!!

第3回

ちよつと気になる子たちを
ささえるオヤジの集いin大阪

4月13日、昨年11月に続き大阪でのイベントを開催。関西第二弾のイベントは恒例の「オヤジの集い」を開催した。このイベントには、埼玉から役員3名が参加。「就学について」「就労について」「きょうだいについて」など多岐に涉り意見交換を行った。なお、イベントとして始めて関東・関西に分かれてある「おやじりんく」の役員5名が勢揃いした記念のイベントとなった。

5月3日、彩の国さいたま芸術劇場にて『映画「海洋天堂」上映会と障害者の性とお金の支援を学ぶ講演会



参加者の皆様と記念撮影

また今回のイベントは協力団体として、埼玉県・さいたま市の障害福祉担当部門や大手民間団体のご協力を頂き、盛大に開催。第一部は、主催者代表の挨拶と海洋天堂の映画を上映。その後はイベントのもうひとつの目玉である、大阪府障害者福祉事業団

職員であり、ファイナンシャルプランナーの鹿野佐代子氏の講演を行った。鹿野氏は25年以上に渉り、知的障害のある人たちとふれ合い、その経験と専門の立場から、性とお金の支援について講演を行った。他に障害者基礎年金と、給料についての管理、そして性に関する問題や事例なども紹介し、1時間45分では足りないほど内容がもりだくさんの講演となった。



講演する鹿野佐代子氏



会場全体の雰囲気

第4回

ちよつと気になる子たちを
ささえるオヤジの集いin北関東

5月26日、栃木県足利市にて、恒例のイベント「ちよつと気になる子たちをささえるオヤジの集い」を開催。北関東交流会となった。

一部ではレデックス認知研究所の五藤博義氏に「認知の発達とその支援」と題して講演頂き、脳機能や認知、そして発達障害を持つ子どもの学びについての大切さを講義された。



第5回

ちよつと気になる
子たちをささえる
オヤジの集いin山梨

6月23日、山梨県甲府市においてイベント「ちよつと気になる子たちをささえるオヤジの集い」を開催。これには埼玉県内から5名が参加。山梨県の親たちとの交流イベントとなった。

一部では、代表理事の金子が、発達障害児を抱える親として自分の体験から、親と子の愛着形成について「幼少期のボンディングや親としての大切さ」を伝えた。



参加者による交流会を開催。来春に就学を控える親たちと中心に、就学について、療育手帳について意見交換をした。

二部は参加者による懇談会を開催。この参加者は将来福祉関係の仕事を目指す学生、そして特別支援学級の教員と、障害を持つ子どもを抱える父親たちで多岐に渉り意見交換を行った。

講演会活動報告



6月13日に、当団体代表の金子が、埼玉県越谷市にある埼玉県立大学の精神保健福祉論の講義で講師を担当。また6月16日には、さいたま市内にてふあみえーるが主催するイベントにて「親ができること」と題して、1時間30分に渉り講演を行った。

埼玉県立大学にて



ふあみえーる主催イベントにて



「月刊福祉」で
おやじりんくが
紹介されました



全国社会福祉協議会が発行する『月刊福祉』の7月号に、人と人をつなぐ実践のコーナーで「発達障害児が羽ばたけるよう、おやじの力を結集」と題して、ご紹介頂いた。4ページに涉って、当団体の紹介や活動内容、そして月に2回定期開催しているミニ懇談会の紹介がされた。



こどもの認知特性を判断するウェブサイト構築事業

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

WEBサイト構築事業について



今年度、おやじりんくの開発事業として、独立行政法人国立青少年教育振興機構が行っている、子どもゆめ基金助成活動より、教材開発・普及活動として『子どもの認知機能特性の理解と判断サイト』が採択された。この事業は平成24年12月5日に発表された、文部科学省調査で、公立小・中学校の通常学級に在籍する生徒の約6.5%が発達障害、またはそれに似た行動を持っていると推定されたことに対して、その児童に対し、何ら療育や支援が行われていない事が分かった。そこで指導する立場の人たちが、子どもの認知特性を簡単に判断できるようなツールが必要であると考え、外見からは分かりづらい、認知機能の偏りを知るためのものとして、Q&A形式やゲームなどを行ってもらい、その結果からその子どもの特性をある程度推定できるようなウェブサイトの構築事業を行っている。

NYにてカニングハム久子先生と懇談



5月6日から11日まで、代表の金子がニューヨークを訪問。コミュニティケーションセラピストとしてNYで活躍されているカニングハム久子先生と、2日間に渉り懇談。

識別機能、認知機能、感覚統合についてご教授頂いた。カニングハム久子先生は「自閉症の子どもにとつて父親視点の療育は大切。これは医学的にも証明さ

ささえる人たちが学べる仕組み発達障害の特性を学ぶ



れている。アメリカでは父親の子育て参加は当たり前になっている。しかし日本では父親の子育て参加自体が遅れている。だから障害への理解などまだまだほとんど遠い中で、おやじりんくはまさに最先端の団体だ。全面的に応援したい。」との貴重なお言葉を頂いた。



カニングハム久子先生と懇談

川端先生主催の勉強会参加



6月18日、新潟安にてかわばた眼科の院長である、川端秀仁先生が主催する勉強会に参加。この勉強会には、盲学校の教員や大学の教授、工学博士など様々な視覚支援の分野で研究されている方々が意見交換を行う場。この勉強会においておやじりんくの法人案内と活動について発表。その中で発達障害児の子育

てにおいて父親の存在の重要性について講演させて頂いた。



川端先生主催の勉強会にて

宮尾先生と懇談



5月20日、国立成育医療研究センターを訪問。同センターの、発達心理科医長、宮尾益知先生と懇談。宮尾先生からは、発達の子どもの行動特性や対処方法についてアドバイスを受けた。宮尾先生は「あくまで当事者視点から立った療育を心がけること」「父親としても大切だが夫婦として妻のケアも大切である」と伝えられた。



宮尾益知先生と懇談

北出先生との懇談



6月11日、兵庫県神戸市を訪問。米国オフトメトリストの資格を有する視機能トレーニングセンタージュイブション代表の北出勝也先生と懇談。教科書などの字を読むことが困難な子どもの中には、近視視力が弱いことが原因で起こる場合もある、とご教授頂いた。また外眼筋を鍛えることで、読むことへの困難が軽減されたケースも伺い、様々な視覚支援方法について学んだ。

NHK総合テレビ 首都圏ネットワークで放映されました。



7月8日、NHKの番組「首都圏ネットワーク」において、7分間に渉り当団体の特集が放映された。番組内容は、6月23日から28日まで6日間、山梨県甲府市でのイベントや志木市内の施設、ミニ懇談会など、各所に撮影が行われた。また普段イベントに参加されている父親たちにもインタビューが行われ、父親視点からの発達障害児・者支援の重要性について語られた。この放映は約400万人の方々に視聴され、大きな反響を頂いた。



首都圏ネットワーク放送にて

協力団体様のご紹介



アサヒビール社員様と懇談

4月26日、アサヒビール株式会社埼玉統括支社へ訪問致しました。今回、アサヒビール様が行っているエコマイレージ活動において、当団体に対してご支援頂ける事になり、その御礼を兼ねて訪問させて頂きました。

今年度、NPO法人おやじりんくが行っている発達障害児・者への支援活動の環として、株式会社ラッシュジャパン様、大塚食品株式会社様から商品提供のご協力を頂いております。ご提供頂きました商品は、当団体のイベントやミニ懇談会へご参加頂きました皆様へ、参加の記念として差し上げております。株式会社ラッシュジャパン様、大塚食品株式会社様には重ねて御礼申し上げます。

